

せんぽと一期一会

せんぽと一期一会 第42号

発行日：2021年10月1日

発行：特別養護老人ホーム

せんぽ瓜破東



1階フロア

9月20日に敬老会が行われました。今年は新型コロナウイルスの影響で小規模での実施となり、レクリエーションなどは行わず、ささやかではありませんが、入居者様に紅白饅頭やフリンのフレンチと祝い年の方には表彰状のフレンチをお渡ししました。受け取られた入居者様の少し照れくさそうな笑顔が印象的でした。



2階フロア

2階でも敬老会のお祝いがありました。2階には今年100歳を迎える入居者様がおられます。ひと際大きな表彰状を受け取られ、とっても素敵な笑顔を見せてくださいました。「すんません、すんません」と大変恐縮されたご様子が微笑ましく、周りのみんなまで幸せな気持ちにさせて下さいました。



3階フロア

9月20日(月)敬老の日には敬老祝賀会を開催させて頂きました。コロナウイルスの影響で本来予定していた職員の出し物は行えませんでした。が、紅白饅頭、フリンを提供させて頂き、食べ物を通してあげない方にはフレンチをご用意させて頂きました。お祝い年の方には賞状と、メダルをフレンチとさせて頂き、皆様喜ばれておりました。

4階フロア

写真は敬老の日の「コマ」です。施設長より賞状を渡されています。4階には百歳の方がお二人いらっしゃいます。二人共、車椅子ではありませんが、元気に自分で操作して動かれています。そんなお元気に過ごされる姿を見て、職員も元気をもらっています。これから末永く楽しくお元気に過ごして頂きたいです！



職員紹介



稲垣 英紀

1階で介護職員として働いております、稲垣と申します。介護の仕事を始めてもうすぐ3年になります。入居者様にとって施設は日常生活の場ですので、安心して過ごして頂けるように、しっかり支援をし、信頼される介護士を目指して努力していきたいと思っております。

美味しく食べる

年齢を重ねるにつれ、当たり前に出来ていたことが難しくなります。お口から三度の食事を食べる。それは当たり前のことのように感じるけれど、健康な歯や、お口にしっかりと合う入れ歯、噛んだものをゴクンと飲み込む力など多くの条件が重ならないければ実現しません。当施設では協力歯科による往診を週4日実施しています。往診では入居者様一人ひとりに合わせたお口の環境を整えるための治療や食事の指導もしていただきます。年齢を重ねてもお口から美味しく食べたい。かたちのあるものを食べたい。まだまだ至らない点もありますが、誰もが望む「当たり前」を実現できるよう、多職種で協力し、日々精進したいと思います。

管理栄養士 中村友子

地域密着型特別養護老人ホーム せんぽ瓜破東
特別養護老人ホーム

〒547-0022 大阪市平野区瓜破東8丁目8番6号
電話：06-6700-5000 FAX：06-6700-5100